

エルサレムの宣教⑦ ー執事の選出

使徒の働き6章1-7節
2015,10,4 HKJCF

概観

序)①危機→聖霊の働き→祝福 ②聖霊の直接的な働き③教会の成長に伴う聖霊のダイナミックな働き:み言+神の器

- 1、執事選出の目的
- 2、選出・按手・祝福(1)、(2)
- 3、結論・適用・祈祷

I 執事選出の目的

- 1、配給への不満:危機が祝福の入り口
 - 2、使徒の奉仕の優先順位の確立
 - 3、み言と祈りに集中
- ⇒①主は一つ、一つの聖霊、一つの神
一つの福音、一つの聖書、②権限の委譲が教会の成長と会員の主体性のカギ
③多様な奉仕者、一つの価値観(聖霊)
- I コリ12:11

II 選出・按手・祝福(1)

- 1、選出基準
- ①聖霊:エンジン
- 1)神様との良い関係と確信
 - 2)宣教の力と種々の賜物
 - 3)聖霊の実(キリストの人格:愛)
 - 4)霊と肉の区別
 - 5)人間の可能性を超えた働き
- ②知恵:ハンドル
- 1)聖書の解釈
 - 2)聖書の適用

II 選出・按手・祝福(2)

- 3)問題解決力
 - 4)神様と人間への深い洞察力
 - 5)神様のご計画への理解
- 真の知恵はキリストのこと ヨハネ1:1
- ③評判:タイヤのバランス
- 1)愛:家庭2)正義:仕事3)謙遜:関係
 - 2、按手
 - 3、祝福
- ①爆発的成長 ②新しい階層への伝道

III 結論・適用・祈祷

- 1、危機(迫害・分裂)→聖霊→祝福
 - 2、教会の成長
- ①権限移譲②聖霊に満ちた奉仕者
③一つの聖霊・多様な賜物と奉仕
- 3、「主よ、私たちの教会に一つの聖霊、一つの価値に基づく信仰を与えてください 聖霊の器が増え、会員の主体性が開発され、今までJCFがとらえなかった層に福音を伝えることができるように 危機が祝福となる恵みを与えてください」